

地域（学区代表）との意見交換

1 意見交換概要

(1) 趣旨

西陣を中心とした地域においては、高い自治意識のもと、各学区で様々な活動が展開されていることから、活性化ビジョンの検討に当たり、地域活動の中心的役割を担い、地域の実情を把握されている学区代表の方々から意見を聞く場として、意見交換会を実施する。

(2) 実施概要

上京区の学区代表に対して、ワークショップ形式で意見交換を実施。

実施日等	参加者	対象学区
8月24日（金） @上京区役所	14名	成逸，室町，乾隆，西陣，翔鸞，嘉楽， 桃菌，小川，京極，仁和，正親，聚楽， 中立，出水，待賢，滋野，春日 (欠席：小川，聚楽，春日)

2 意見交換の結果

(1) 将来像に関する意見

- ・西陣の歴史と伝統を活かして、まちづくりをどのように進めていくかが重要。
- ・西陣地域の住民生活の場が「価値あるもの」であることを認識すべき。
- ・現在の社会に対応した変革が必要であり、そのためには若い人の参画が必須。
- ・地域の文化や行事を、若い世代に引き継ぐ仕組みやサポートが必要。
- ・若い人に住んでもらえるように流れを変えていくことが大切。
- ・西陣はものづくりのまちであり、観光では地域は活性化しないのではないか。
- ・「産業」が重要であり、西陣織の産地が元気になるような取組が必要。
- ・「住民にできること」と「行政にできること」があり、双方の連携が必要。

(2) 実現の方策に関する意見

「柱Ⅰ 歴史・文化を継承する」
<ul style="list-style-type: none">・和装は生活・文化の知恵として継承すべきである。・着物を着るかどうかは個人の意向によっており、子どもの入学式や卒業式で着物を着る人は増えているが、批判的な親世代の意見もある。難しい。・簡単に着ることができる和服があるが、和装を習慣化できれば馴染んでくる。・御所の存在は重要。住民は御所が所在する地域であることを認識している。
「柱Ⅱ 趣のある町並みに住む」
<ul style="list-style-type: none">・京町家を取り壊されてマンションが建設される事例があり、京町家を保全する対策が必要。・空き家対策や防災まちづくり、京町家など、行政は色々と取り組んでいるが、連携して進めていくべきである。・京町家で営まれる暮らしを大切にしてもらいたい。まずは、外観を保全する取組でも良い。・昔から職住近接でやってきたが、それにこだわることなく、住み良い西陣、子供が育ちやすい西陣になるとよい。・地域の経済が活性化すれば、町並みもよくなる。
「柱Ⅲ 西陣で働き、賑わいを生む」
<ul style="list-style-type: none">・西陣はものづくりのまちであり、観光に注力するよりも、ITなど技術革新の視点も含めて、ものづくりに積極的に取り組んだ方が良い。・新しいものづくりと、担い手、働く人が重要である。・経済の活性化が最も重要ではないか。・西陣エリアが、世界から注目され、世界からの投資を誘発できれば、地域が活性化するのは。(更に、歴史文化や町並みの向上につながる。)
「活性化の土台Ⅳ 誇りと憧れの西陣ブランドを確立する」
<ul style="list-style-type: none">・地域で育ち、地域の良さを知っている人が将来の地域を支える人材になる。その人たちが地域に戻ってくる仕組みが必要。・子ども・子育て世帯の増加に向けた取組が必要。 (入りやすい家賃の住宅やファミリー向けマンションの整備など。)・地域活動に興味のある学生もおり、学生が地域活動に関わる仕掛けも考えていけると良い。・学生や若い人に関わりを持ってもらう取組が必要。 (学生が消防分団に入るなど、関わりが増えている事例もある。)・地域に溶け込み、家族で住んでいる外国人はすばらしい。地域から積極的に声掛けしていくべきである。

